

沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド（DT）に代わり
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合
ワクチン（DTaP）を用いる場合に期待される効果

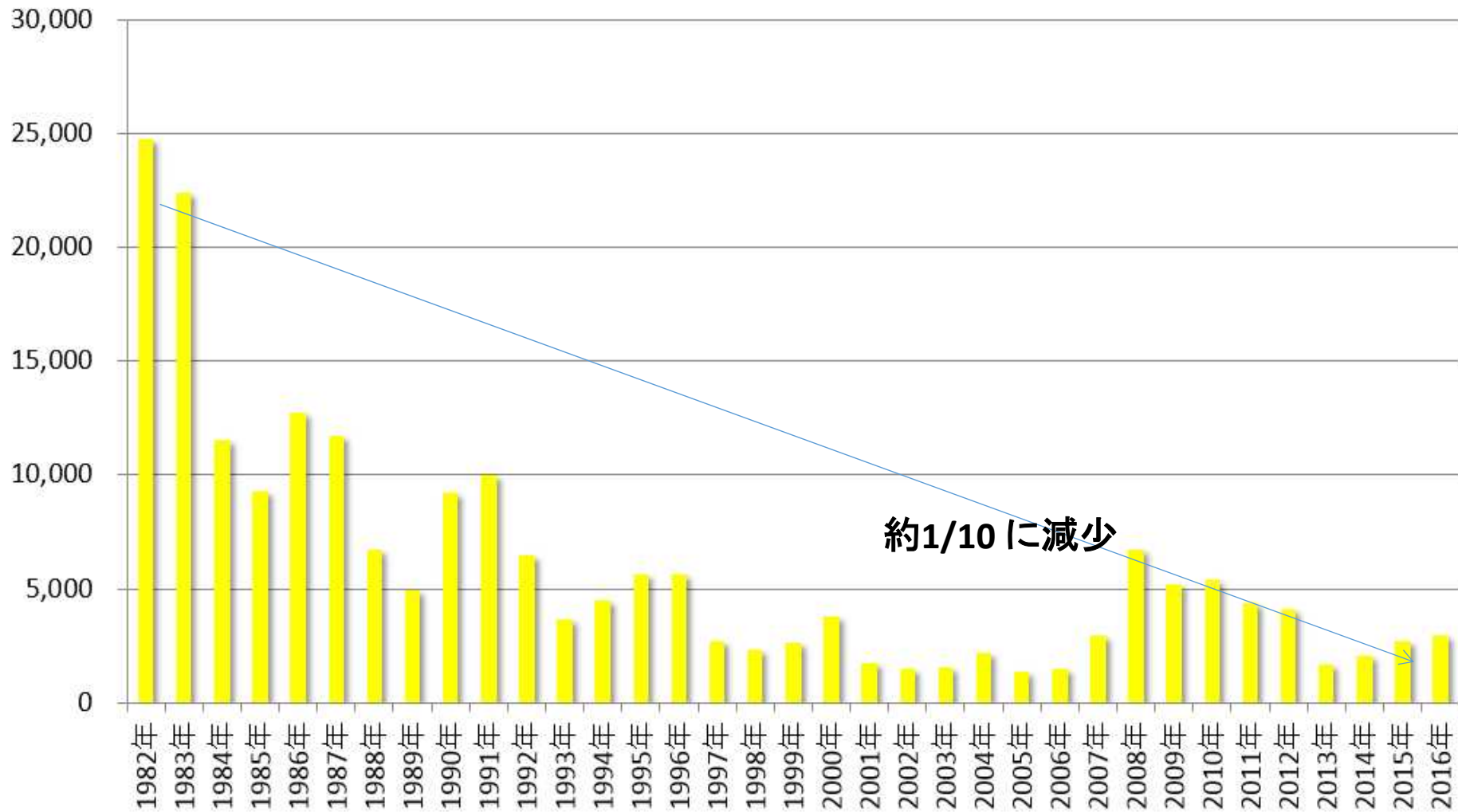
福岡看護大学 基礎・基礎看護部門 基礎・専門基礎分野
福岡歯科大学医科歯科総合病院 予防接種センター
岡田賢司

第6回ワクチン評価に関する小委員会における検討事項

1. 日本の百日咳の疫学状況についてどのように考えるか。
2. 諸外国での疫学状況と百日咳ワクチンの使用状況についてどのように考えるか。
3. 1.2 の検討を踏まえ、沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド（DT）の代わりに沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DTaP）を用いる場合に、期待される効果や安全性についてどのように考えるか。

定点*あたりの
累積報告数

百日咳 累積患者数 (1982年～2016年)

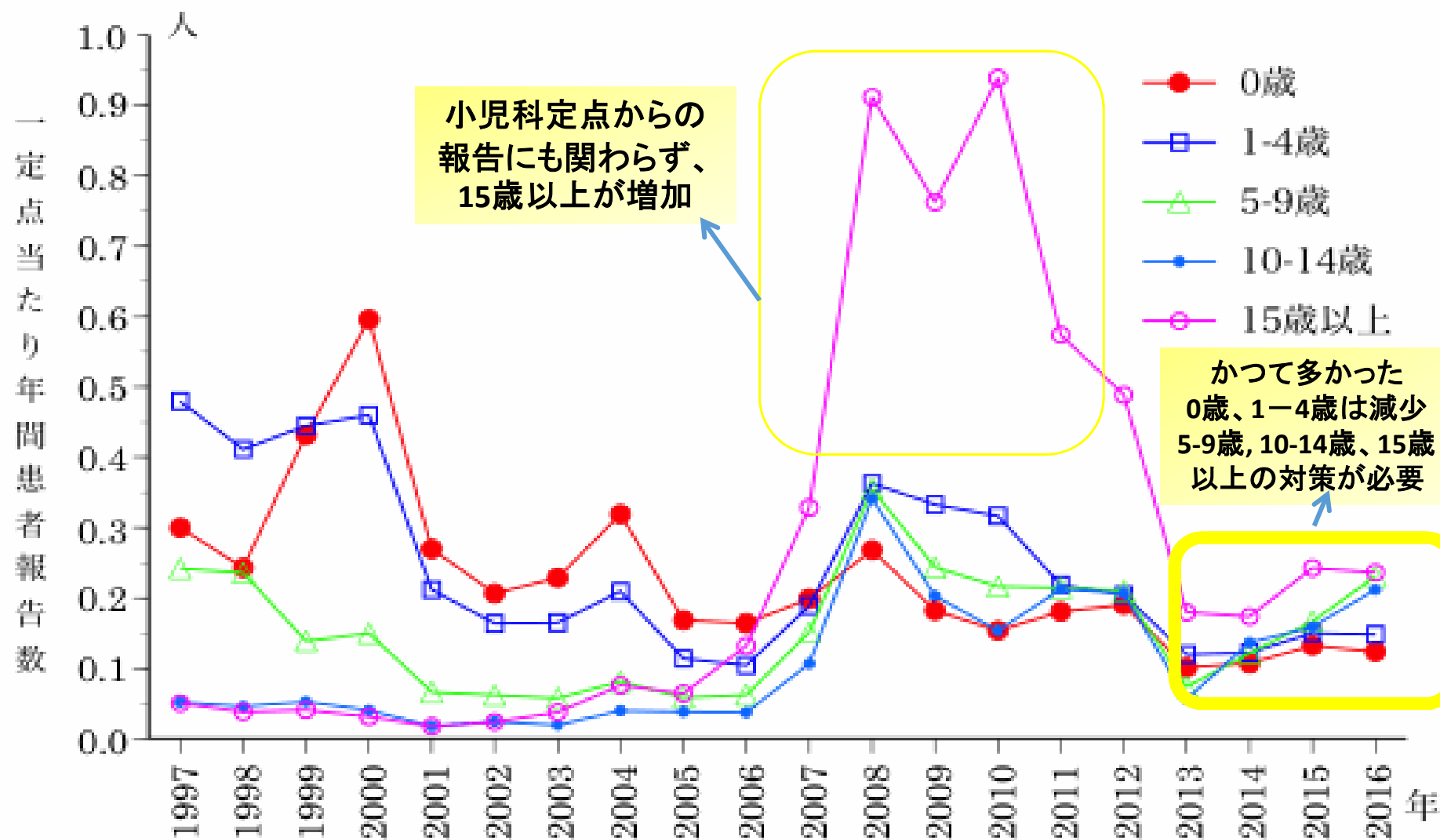


約1/10に減少

* 全国約3000の小児科定点医療機関からの臨床診断に基づく

国立感染症研究所感染症週報 (IDWR) から作図

図4. 百日咳患者年齢群別報告数の推移, 1997~2016年



(感染症発生動向調査：2017年1月6日現在報告数)

* 全国約3000の小児科定点医療機関からの臨床診断に基づく

→ 現行の報告システムでは百日咳の正確な全体像を把握できていない

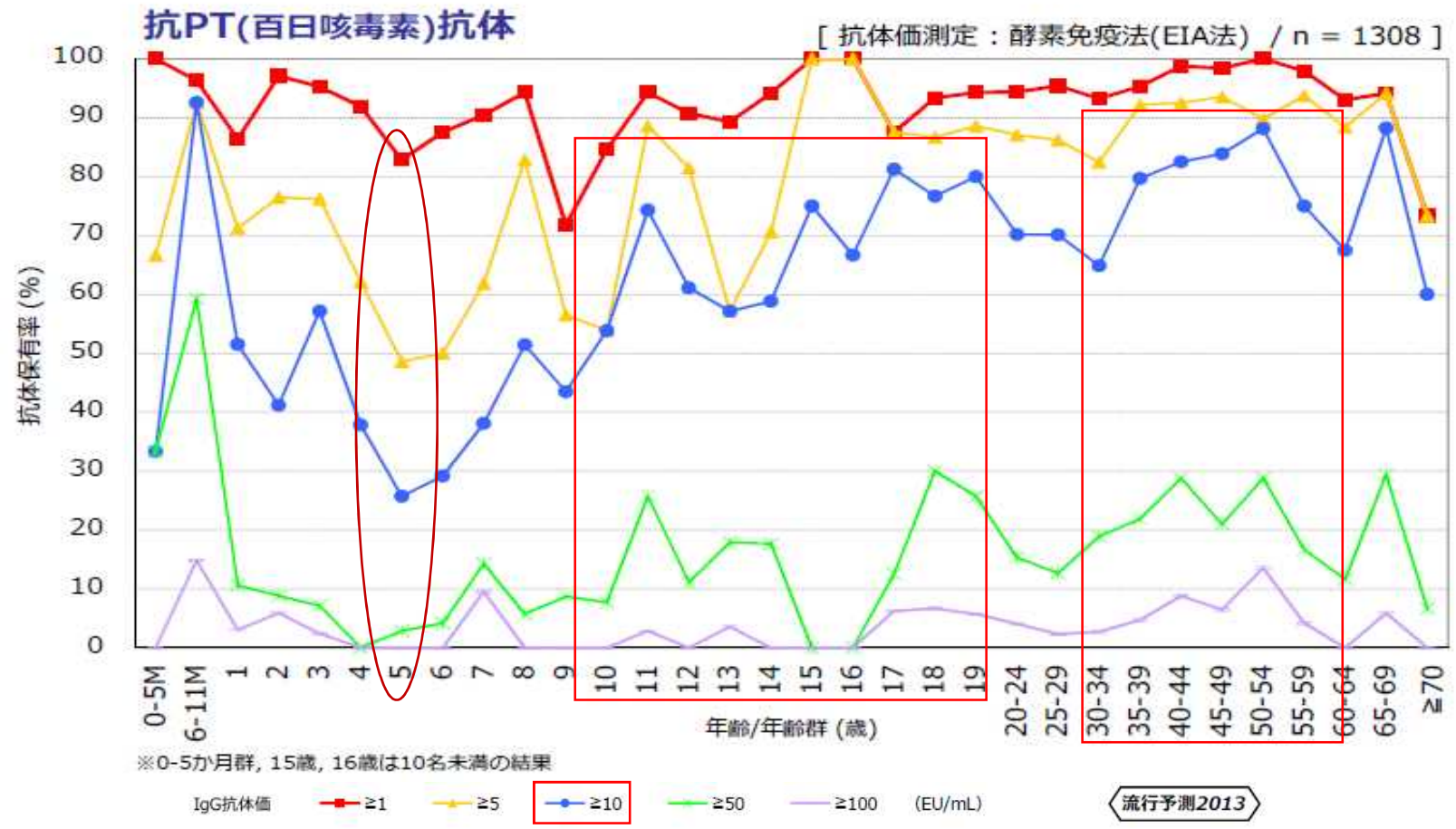


年齢・年齢群別の百日咳抗体保有状況、2013年※1

～2013年度感染症流行予測調査より～

- ◆ 月齢6-11か月のPT抗体保有状況は90%に達し、ワクチン接種の効果と考えられる。
- ◆ その後、年齢が上がるにつれ抗体保有率は低下し、5～6歳が30%以下と最も低い。
- ◆ それ以降は年齢とともに上昇（自然感染の可能性）。

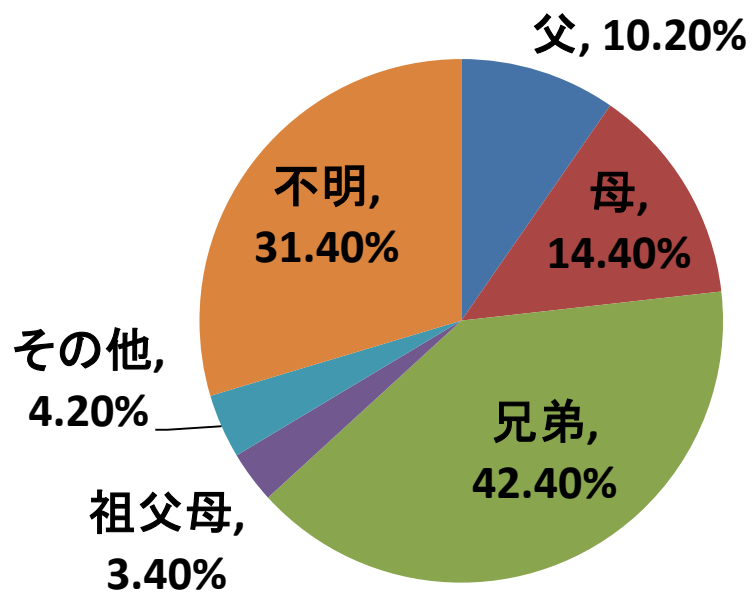
※1 主に2013年7～9月に採取された血清の測定結果



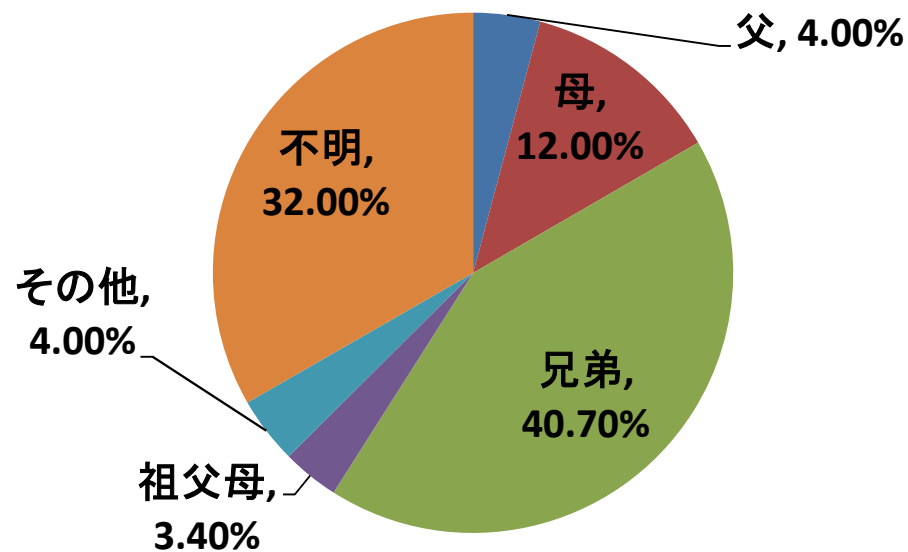
【2013年度百日咳感受性調査実施都道府県】
北海道, 東京都, 福井県, 愛知県, 愛媛県, 高知県, 福岡県

推定された感染源（複数回答）

2016年
調査結果

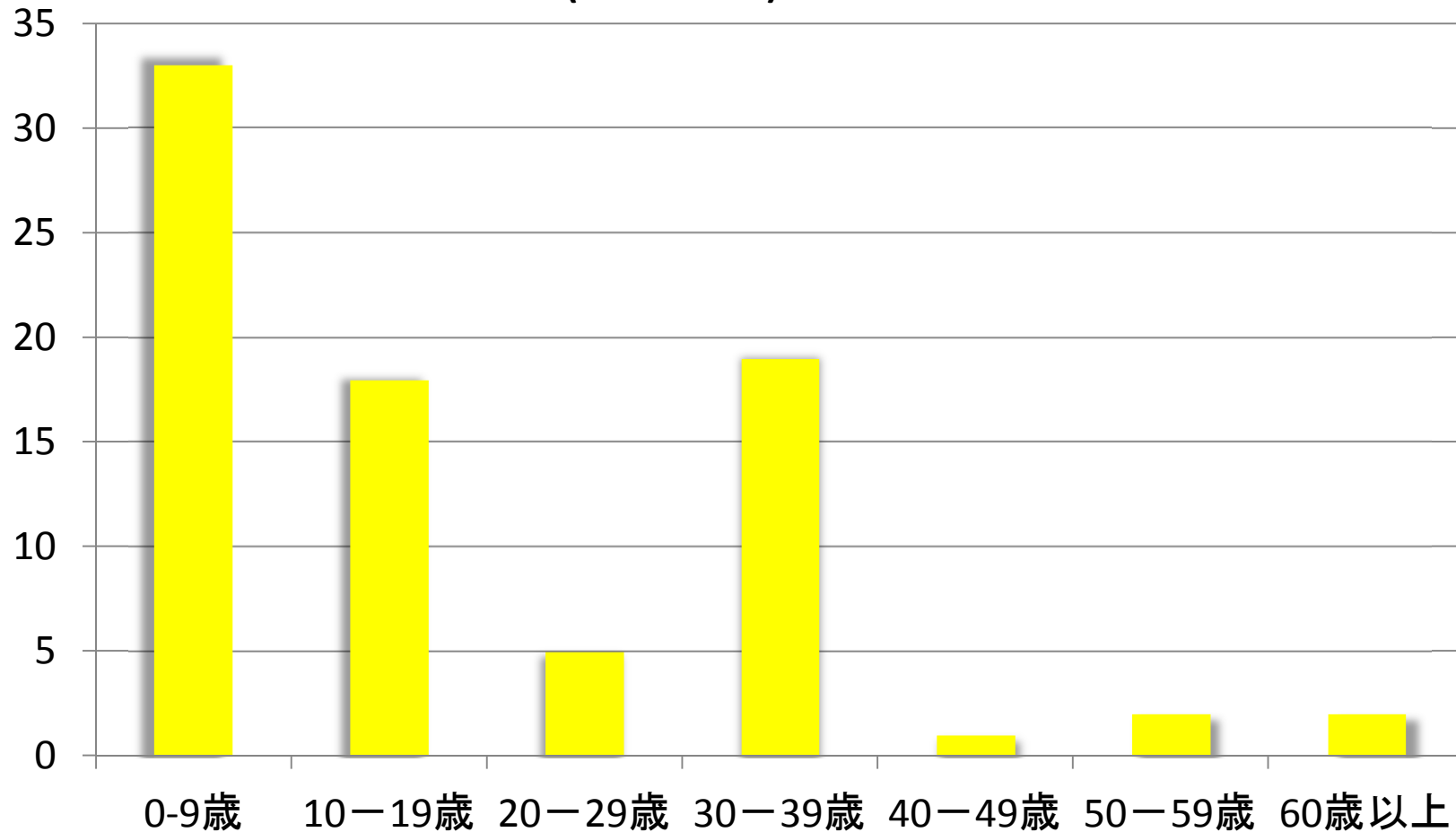


2017年
1~6月
調査結果



感染源と推定された家族の年齢群

6県における後方視調査(2009-2013)および10県における前方視調査(2016～)



6県における後方視百日咳入院(2009-2013)

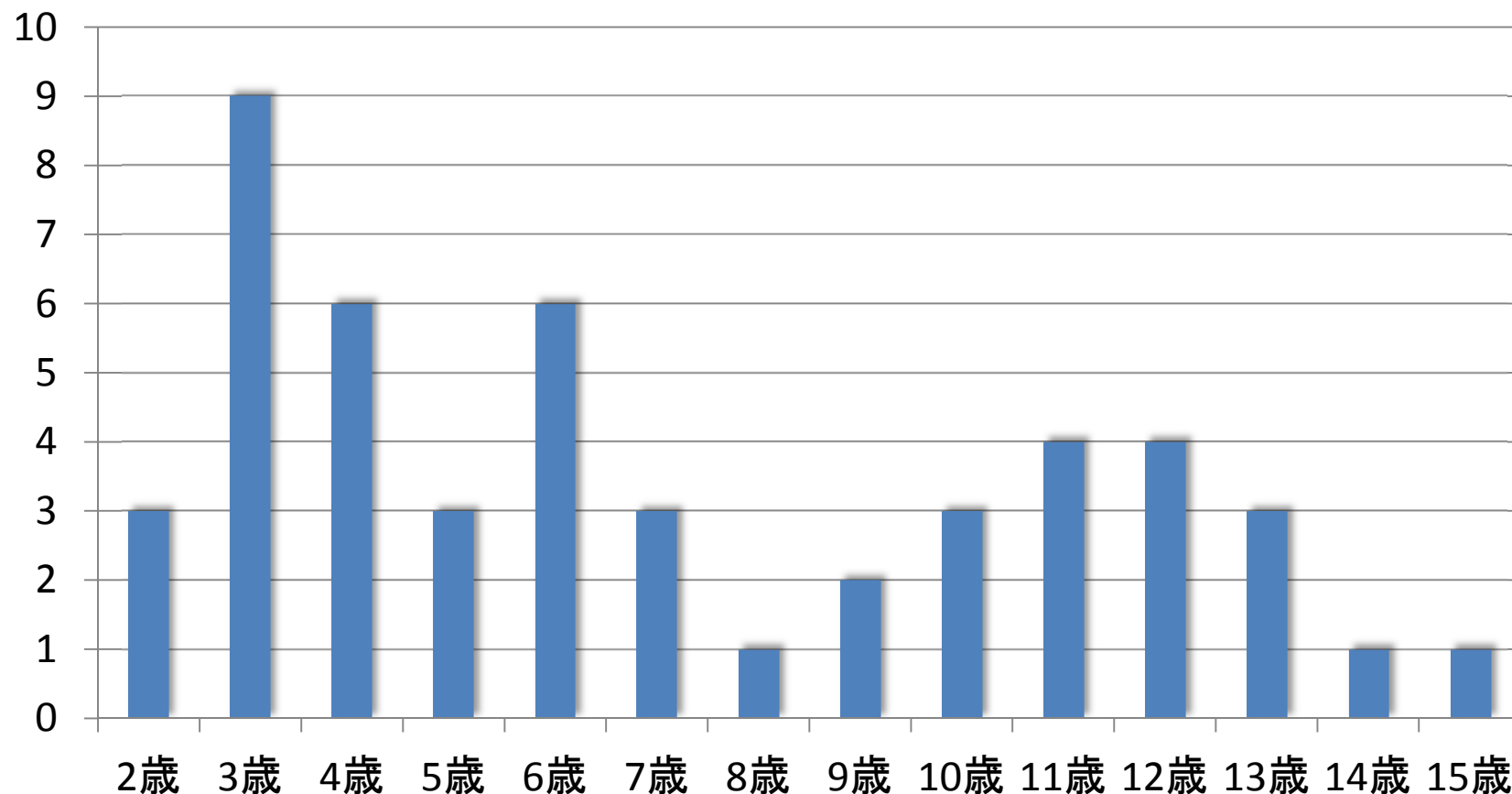
平成26年度 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
『百日咳の発生実態の解明及び新たな百日咳ワクチンの開発に資する研究』班報告書(岡田斑)

10県における前方視調査(2016～)

日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
「ワクチンの実地使用下における有効性・安全性及びその投与方法に関する基礎的・臨床的研究」(菅班)

感染源と推定された同胞の年齢(15歳以下)

6県における後方視調査(2009-2013)および10県における前方視調査(2016～)



6県における後方視百日咳入院(2009-2013)

平成26年度 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
『百日咳の発生実態の解明及び新たな百日咳ワクチンの開発に資する研究』班報告書(岡田斑)

10県における前方視調査(2016～)

日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
「ワクチンの実地使用下における有効性・安全性及びその投与方法に関する基礎的・臨床的研究」(菅班)